

2021年3月期 第3四半期 決算説明資料

- 1) 決算概要
- 2) 決算のポイント
- 3) 国内売上高
- 4) 海外売上高
- 5) 商品群別売上高
[参考]内訳
- 6) 減価償却費と研究開発費
- 7) 通期業績見通し
- 8) 通期業績見通し 修正のポイント
[参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響

はじめに) コンプライアンス事案への対応について

2021年1月

当社社員3名の逮捕・起訴 → 調査委員会を設置

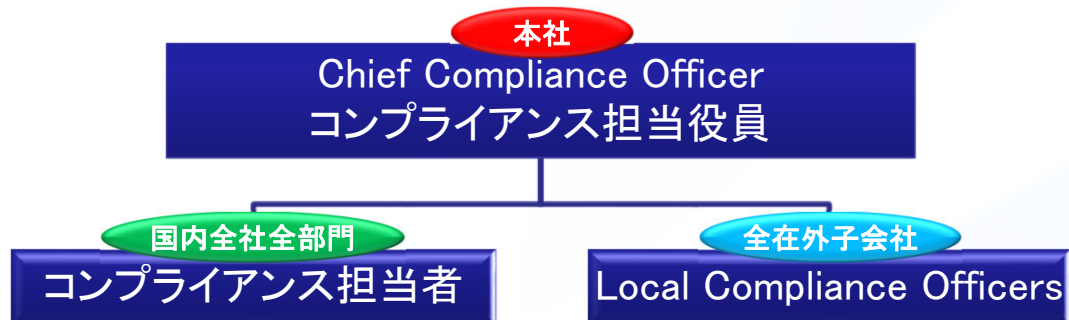
委員長: 社外取締役 村岡 香奈子
社外取締役2名、外部の弁護士2名、
社内取締役2名の計6名

- 当該贈賄事件に係る事実関係の調査および確認
- 他支社・支店における類似事案の有無の調査
- 再発防止策の策定、関係者の処分の検討

●コンプライアンス体制

2016年 日本光電ヨーロッパ: ルーマニアでの商談において不適切な支払いがあった件で世界銀行と和解契約を締結

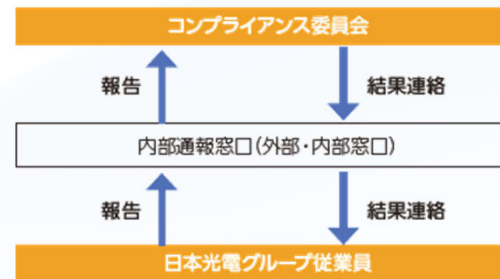
2017年 「腐敗行為防止規定」を制定
「グローバル・コンプライアンス・プログラム」を導入



●コンプライアンス教育 国内支社・支店 年5回実施

- 年1回 職場単位でのコンプライアンス勉強会
(国内外の全役員・社員対象、2019年度は約5,300名受講)
- 年1回 リスク管理に関するeラーニング(国内の全役員・社員対象)
- 年1回 事業所別コンプライアンス勉強会(国内支社・支店対象)
- 年2回 コンプライアンスチェックを実施(国内支社・支店対象)

●内部通報システム



報告者が不利益を受けることがないよう保護、匿名での報告も受付

調査委員会の調査結果を以て、コンプライアンス体制を見直す予定

1) 決算概要

	2020/3 第3四半期 累計	2021/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
売上高	129,525	137,046	5.8
国内売上高	94,387	88,004	△ 6.8
海外売上高	35,137	49,042	39.6
売上総利益 (売上総利益率)	63,039 48.7%	69,113 50.4%	9.6
営業利益 (営業利益率)	8,396 6.5%	15,586 11.4%	85.6
経常利益	8,108	14,697	81.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,832	8,882	83.8

(単位:百万円、単位未満切捨て)

← 為替影響除く: +44%

← 自社品
売上比率: 2019/12 65.0% → 2020/12 69.1%

← 販管費率: 42.2% → 39.0%

← 為替差損: 2019/12 511百万円 → 2020/12 1,271百万円

← 【特別損失】
減損損失: 2020/12 320百万円
のれん償却額: 1,193百万円

平均レート	(2019/12)	(2020/12)
1米ドル	109.0円	106.3円
1ユーロ	121.3円	122.2円

2) 決算のポイント

売上高：前年同期比 5.8%増

- ・国内：検査・手術の減少や生体計測機器など一部製品に対する予算執行の延期・凍結が影響し、減収。前年同期の大口商談の受注の反動減も響く。
- ・海外：生体情報モニタ、人工呼吸器、除細動器の需要が底堅く、二桁増収。

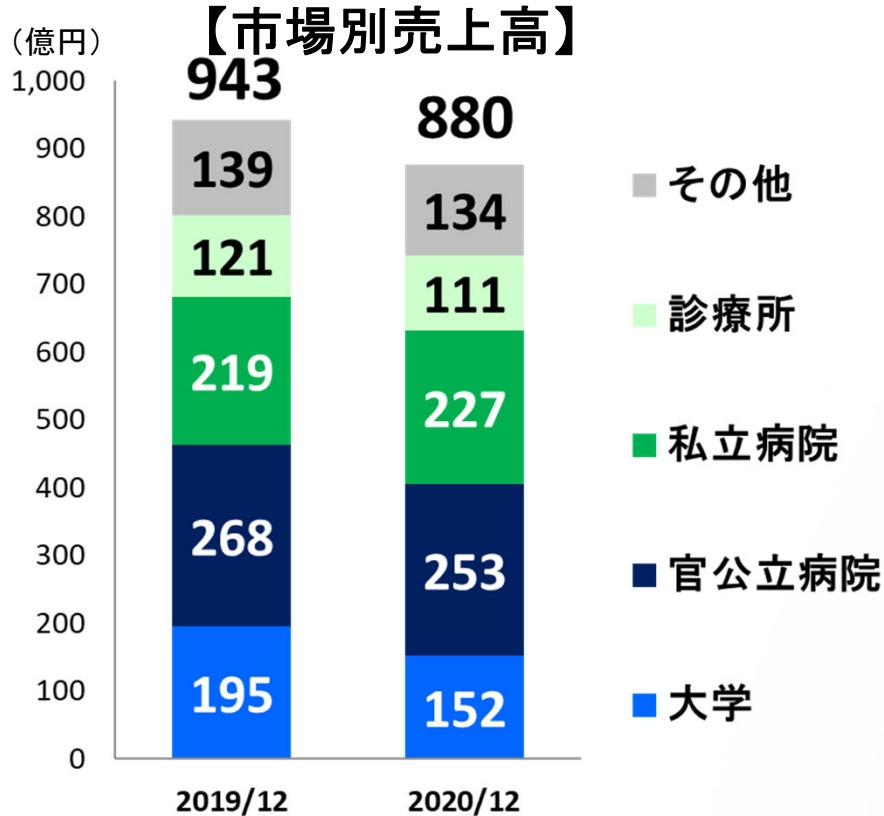
営業利益：前年同期比 85.6%増

- ・増収効果、粗利率の改善、旅費交通費などの販管費の減少により大幅増益。
- ・粗利率は売上構成の良化により、50%台を確保。

純利益：前年同期比 83.8%増

- ・COVID-19感染拡大で海外のAED需要が減少、2012年に買収したデフィブテックの将来計画を見直し、のれん償却額・減損損失を特別損失に計上。

3) 国内売上高



【商品群別売上高】

(単位:百万円)

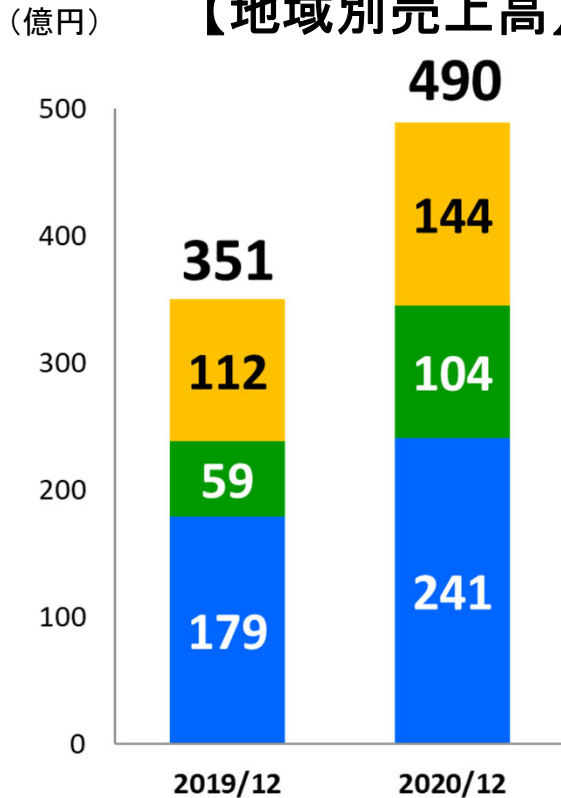
	2020/3 第3四半期 累計	2021/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	23,607	20,025	△ 15.2
生体情報モニタ	28,521	27,615	△ 3.2
治療機器	16,900	18,828	11.4
その他	25,357	21,536	△ 15.1
売上高合計	94,387	88,004	△ 6.8

【市場別】 私立病院市場は堅調に推移したものの、大学、官公立病院、診療所市場が低調。大学、官公立病院市場は前年同期の新築移転に伴う大口商談の受注の反動減も影響。

【商品群別】 生体計測機器： 全ての商品が二桁減収。
 生体情報モニタ： 3Qに入り回復基調にあるものの、ベッドサイドモニタ、臨床情報システムが減収。医用テレメータは好調に推移。
 治療機器： 人工呼吸器、AEDが大幅増収。除細動器、ペースメーカー・ICDは低調に推移。
 その他： 前年同期の大口商談の反動もあり、現地仕入品、医療機器の設置工事サービスが大幅減収。

4) 海外売上高

【地域別売上高】



- **アジア州他**：前年同期比 +29%
(為替影響除く: +33%)
- **欧州**：前年同期比 +75%
(為替影響除く: +75%)
- **米州**：前年同期比 +35%
(為替影響除く: +40%)

【海外売上高比率】

2020/3 第3四半期累計	2021/3 第3四半期累計
27.1%	35.8%

【商品群別売上高】

(単位: 百万円)

	2020/3 第3四半期 累計	2021/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	6,394	5,948	△ 7.0
生体情報モニタ	17,487	27,753	58.7
治療機器	7,119	11,700	64.3
その他	4,136	3,639	△ 12.0
売上高合計	35,137	49,042	39.6

為替影響除く: +44%

- 【地域別】
- 米州：米国は二桁成長。中南米はメキシコ、コロンビアを中心に倍増、ブラジルも大幅増収。
 - 欧州：西欧諸国、東欧諸国ともに大幅増収。特に、イタリア、イギリス、ポーランドでの売上が倍増。
 - アジア州他：イスラエル、インドネシアなどでの大口商談の受注もあり、二桁成長。中国も堅調に推移。
- 【商品群別】
- 生体計測機器：心電計群は全ての地域で好調に推移するも、脳神経系群が米州、アジア州他で低調。
 - 生体情報モニタ：全ての地域で二桁成長。特に、欧州、中南米での売上が倍増。
 - 治療機器：全ての地域で、人工呼吸器が一定の事業規模に成長、除細動器も好調。AEDは需要が減少。
 - その他：需要および検査数の減少により、血球計数器・試薬が全ての地域で前年同期を下回る。

5) 商品群別売上高

(単位:百万円)

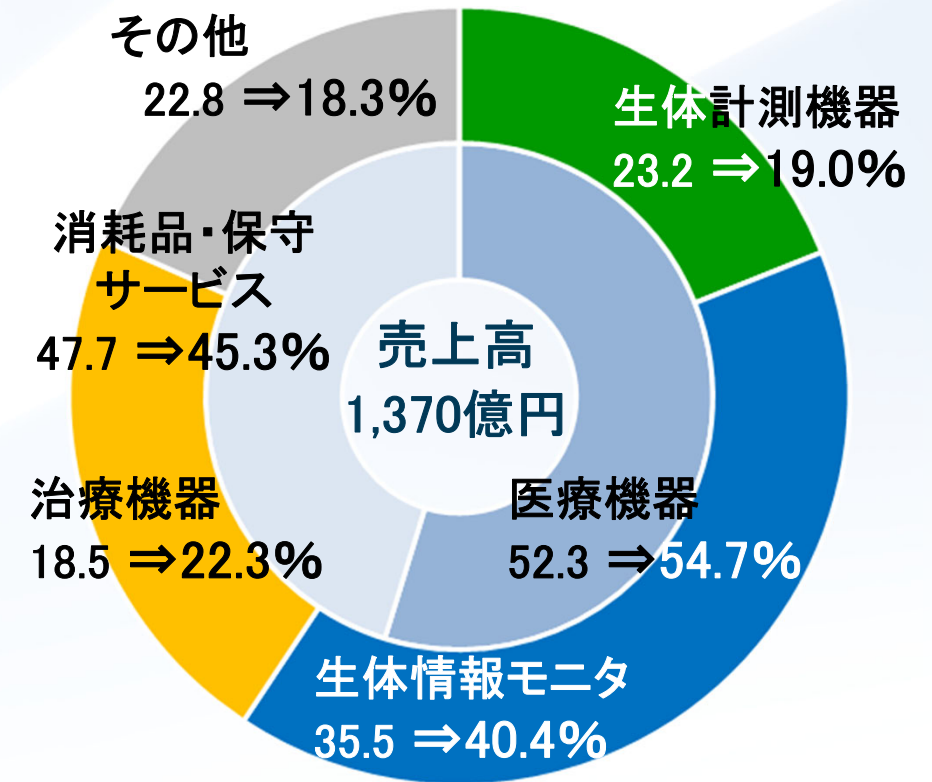
	2020/3 第3四半期 累計	2021/3 第3四半期 累計	増減率 (%)
生体計測機器	30,002	25,973	△ 13.4
生体情報モニタ	46,008	55,369	20.3
治療機器	24,019	30,528	27.1
その他	29,494	25,175	△ 14.6
売上高合計	129,525	137,046	5.8

(ご参考)

消耗品・保守サービス	61,804	62,036	0.4
------------	--------	--------	-----

商品群別売上構成比

(2019/12 ⇒ 2020/12)



[参考] 商品群別売上高の内訳

(単位:億円、単位未満切捨て)

生 体 計 測 機 器	2020/3 第3四半期 累計	2021/3 第3四半期 累計
脳 神 経 系 群	51	43
心 電 計 群	48	46
心臓カテーテル検査装置群	122	107
その他(診断情報システム等)※	77	62

※診断情報システムや他社製の生体計測機器を含みます。

治 療 機 器	2020/3 第3四半期 累計	2021/3 第3四半期 累計
医 科 向 け 除 細 動 器	41	52
A E D	108	106
ペ ー ス メ ー カ ・ I C D	23	20
人 工 呼 吸 器	22	80
そ の 他	43	45

そ の 他	2020/3 第3四半期 累計	2021/3 第3四半期 累計
検 体 検 査 装 置	73	66
画像診断装置、研究用機器他※	221	185

※他の商品群に分類されない、消耗品や設置工事・保守サービスを含みます。

6) 減価償却費と研究開発費

(単位:百万円)

	2020/3 第3四半期 累計	2021/3 第3四半期 累計	増減額	2020/3 前期実績	2021/3 予想	
					期初	11月6日 修正
減価償却費	2,611	2,334	△ 276	3,597	3,600	3,600
研究開発費	4,758	4,430	△ 328	6,731	7,000	7,200
		設備投資額		3,549	3,900	3,900

【2021/3期 設備投資計画】

新製品の「型」、計測器・治具、販促用製品、IT投資、工場生産設備(需要の増加に伴う人工呼吸器2機種・生体情報モニタの生産増強を含む)

中位機種ベッドサイドモニタ

2020年11月末
米FDA再申請



CSM-1500/1700シリーズ

ドバイ試薬工場

2020年度4Q
生産開始予定



7) 通期業績見通し

	2020/3 前期実績	2021/3予想			増減率 (%)
		期初	11月6日修正	2月2日修正	
売上高	185,007	180,000	184,000	190,500	3.0
国内売上高	134,355	126,200	127,200	129,000	△ 4.0
海外売上高	50,651	53,800	56,800	61,500	21.4
売上総利益 (売上総利益率)	89,325 48.3%	87,200 48.4%	91,300 49.6%	94,700 49.7%	6.0
営業利益 (営業利益率)	15,503 8.4%	14,000 7.8%	16,500 9.0%	20,000 10.5%	29.0
経常利益	14,846	14,000	16,500	19,100	28.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	9,854	10,000	11,000	11,800	19.7
海外売上高比率	27.4%	29.9%	30.9%	32.3%	
平均レート					
1 米 ド ル	109.1円	107円	106円	106円	
1 ユ ー ロ	121.1円	117円	122円	123円	

(単位:百万円)

← 為替影響除く: +25%

【地域別海外売上高】

	2020/3 前期実績	2021/3予想			増減率 (%)
		期初	11月6日修正	2月2日修正	
米 州	24,731	26,600	28,100	29,600	19.7
欧 州	9,044	8,800	10,300	12,700	40.4
アジア州他	16,876	18,400	18,400	19,200	13.8
海 外 計	50,651	53,800	56,800	61,500	21.4

※2021/3期から、アジア州とその他地域を合わせて、アジア州他としています。
 ※第4四半期の前提為替レートは104円/米ドル、126円/ユーロです。

8) 通期業績見通し 修正のポイント

売上高
(前回予想から
65億円増)

国内売上高
(同18億円増)

- 3Qに続き、4Qも売上回復の見込み
- 補正予算を背景に、COVID-19対応の需要が下支え
- 緊急事態宣言の再発令による、営業・サービス活動の制限、医療機関における検査・手術の延期などの影響を想定

海外売上高
(同47億円増)

- COVID-19感染拡大に伴う3Qの特需が想定を上回る
- 4Qは反動減の見込み

営業利益
(同35億円増)

- 売上高が前回予想を上回る見込みのため、上方修正

経常利益
(同26億円増)

- 円高による為替差損

親会社株主に帰属する
当期純利益
(同8億円増)

- 3Qにのれん償却額・減損損失を特別損失に計上

●コンプライアンス事案の業績影響

- 一部の官公立大学、官公立病院で取引・指名停止
- 2月2日修正発表した当期連結業績予想に変更なし

通知を受けた数(1/29時点)

指名停止期間	42国立大学病院	47都道府県
1~3ヵ月間	7	8
4~6ヵ月間	2	9
7~9ヵ月間	0	2
10ヵ月以上	1	3

[参考] 商品群別売上高見通し/為替の影響

(単位:百万円)

	2020/3 前期実績	2021/3 予想				増減率 (%)
		期初	11月6日修正	2月2日修正	構成比(%)	
生体計測機器	42,273	37,200	36,800	37,800	19.8	△ 10.6
生体情報モニタ	64,966	68,500	70,000	74,700	39.2	15.0
治療機器	34,512	35,800	39,800	41,100	21.6	19.1
その他	43,254	38,500	37,400	36,900	19.4	△ 14.7
売上高合計	185,007	180,000	184,000	190,500	100.0	3.0

(ご参考)

消耗品・保守サービス	84,160	82,200	81,500	84,500	44.4	0.4
------------	--------	--------	--------	--------	------	-----

為替感応度の概算値(年間)

	売上高	営業利益
米ドル	3.5億円	0.7億円
ユーロ	1.0億円	0.5億円

この資料に記載されている業績予想数値は、当社および当社グループ会社の事業に関連する業界の動向、国内外の経済情勢、各種通貨間の為替レートの変動など、業績に影響を与える要因についての現時点で入手可能な情報を基にした見通しを前提としております。同数値は、市況、競争状況、新商品導入の成否など多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の業績は、この資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

【担当部署】 経営戦略統括部

【連絡先】 TEL03-5996-8003